

ELGAR

Jugend
Philharmoniker

18

10 March, 2024

MUZA Kawasaki Symphony Hall

The logo for Jugend Philharmoniker, featuring a stylized lowercase 'j' with a curved line above it, followed by the word 'ugend' in a bold, lowercase sans-serif font, and 'philharmoniker' in a smaller, lowercase sans-serif font below it.

ユーゲント・フィルハーモニカー 第18回定期演奏会

E.エルガー・

序曲《ロケイン》Op.40

Cockaigne Overture, Op.40

チエロ協奏曲 ホ短調 Op.85

Cello Concerto in E minor, Op.85

交響曲第1番 変イ長調 Op.55

Symphony No.1 in A-flat major, Op.55

チエロ独奏 江口心一
指揮 橋直貴

2024年3月10日(日)
12時45分開場 / 13時30分開演

ミューザ川崎シンフォニーホール

JR川崎駅中央西口から徒歩3分 / 京急川崎駅中央口から徒歩8分

チケット予約



全席指定 1,000円

(事前予約制・電子チケットのみ)

*当日、会場窓口でのチケット販売はございません。

未就学児のご入場はご遠慮ください。

<https://teket.jp/345/29153>

問合せ: jugendphil.ad@gmail.com

公式ホームページ <http://jugend-phil.com>

X (旧 Twitter) [@jugend_phil](https://twitter.com/jugend_phil)

Facebook www.facebook.com/jugendphil

Instagram [@jugend_philharmoniker](https://www.instagram.com/jugend_philharmoniker)

YouTube www.youtube.com/user/jugendphil



チエロ独奏 江口心一

3歳からヴァイオリンを始める。8歳でチェロに転向。11歳、12歳の時ススキメソッドのテンプルドレンの一員としてニューヨークのカーネギーホール、シドニーのオペラハウスなどを含むアメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ各地のホールで演奏をする。1991年桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を卒業後ベルギーのブリュッセルに留学。1992年フランスのパリ国立高等音楽院に首席で入学。1997年パリ国立高等音楽院で一等賞(プルミエブリー)を獲得。2000年1月より東京都交響楽団団員。現在同交響楽団副首席。ピアノとのデュオ「The DUO」、弦楽三重奏「菖蒲」、ピアノトリオ「東京トリオ」、「トリオナチュール」、「ローズタウントリオ」、弦楽四重奏「Ambition Quartetto」を結成するなど室内楽にも力を入れ、ソロ活動に関してはソロリサイタル、コンチェルトなどこれまでに数々のコンサートで演奏している。ピアノ五重奏団Mercedes ensembleのメンバー稲本響が音楽監督を務める映画、「長い散歩」、「イキガミ」、「スーパオペラ」、「星守る犬」、大河ドラマ「どうする家康」の中で流れるチェロも演奏している。これまでにヴァイオリンを安田広務、チェロを佐藤満、松波恵子、Gilbert ZANLONGHI(ジルベール・ザンロンギ)、Jean-Marie GAMARD(ジャンマリ・ギャマール)、Patrick GABARD(パトリック・ギャバール) Mark Didier THIRAULT(マーク・ディディエ・ティロー)の各氏に師事。



指揮 橋直貴

札幌市出身。1988年桐朋学園大学音楽学部ホルン専攻として入学。同大学卒業後、研究科に進み、1994年より1997年まで同大学の付属機関である指揮教室に在籍する。この間、指揮を岡部守弘、紙谷一衛、黒岩英臣の各氏に、ホルンを安原正幸氏、チェンバロを鍋島元子氏に師事する。また、大学在学中より、シエナ・ウィンドオーケストラに入団、1995年4月まで同団のホルン奏者を務める。大学卒業後から湯浅勇治氏の指揮セミナーに参加、師事する。1999、2001年ウィーン・マスタークルゼ指揮マスターコースにてサルヴァドール・マス・コンデ氏に、2000、2003、2004、2006年イタリアのムジカ・リヴァ夏期国際アカデミー指揮マスターコースにてイザーク・カラブチェフスキー氏に、また2001年ドイツのシュレスヴィッヒ・ホルシュタイン音楽祭指揮マスターコースにてホルマ・パヌラ氏に師事する。2001年第47回ブザンソン国際指揮者コンクール・ファイナリスト、ならびに聴衆賞受賞。同年に、オーケストラ・レジオナル・ドゥ・カンヌと、2006年サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニーと共演。2007年第2回バルトク国際オペラ指揮者コンクールにて優勝。これまでに、東京交響楽団、東京シティフィル、東京室内管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィル、広島交響楽団、関西フィル他に客演、各地のオーケストラ、合唱団やオペラの指揮者として活動。現在、東京室内管弦楽団のプリンシパルコンダクター、コンセル・エクラン福岡の音楽監督を務めている。

ユーゲント・フィルハーモニカー

一般財団法人日本青年館と全日本高等学校オーケストラ連盟の音楽行事(全国高等学校選抜オーケストラフェスタ、全日本高等学校選抜オーケストラ・ヨーロッパ公演、日本ユングオーケストラ・ヨーロッパ公演)に参加したメンバーが中心となって2006年3月に創設された。全国各地の高校や大学オーケストラ出身のプレイヤー約80名が集まり、3月の定期演奏会を中心に、福祉施設や普段生のオーケストラに触れる機会のない農村への訪問演奏、地方公演、行楽施設の各種イベントやテレビ番組での依頼演奏など幅広い活動を行っている。音楽的に、そして人間的に成熟した団体作りに励みながら、「アマチュア・オケだからできること(≒プロオケには出来ないこと)」を追求している。